

第38回宮島全国短歌大会を開催いたしました。

去る10月30日(日)、新しい会場となる「etto宮島交流館」において『第38回宮島全国短歌大会』を開催いたしました。

朝から素晴らしい秋晴れが広がる清々しい天気の中、当日は約70名弱の方のご出席を頂戴いたしました。コロナ禍の中にもかかわらず、多くの方にご出席いただき感謝申し上げます。

午前の部では、今大会の講師 大辻隆弘先生より「アララギと広島」と題してご講演いただき、午後の部では、事前にご投稿いただいた678首の中から「特別賞 16点」「優秀賞 15点」さらに「選外佳作 30点」を大辻先生に選んでいただき、選歌講評を行っていただきました(選外佳作については当日参加者の作品のみ)。

大辻先生におかれましては、結社「未来短歌会」の理事長であり、編集発行人として、テレビ、雑誌等でのご活躍はもちろんのこと、歌集「デブス」で寺山修司短歌賞、歌集「景德鎮」で斎藤茂吉短歌文学賞、評論集で島木赤彦文学賞、佐藤佐太郎短歌賞をはじめ多くの受賞歴がございます。今年の最新歌集「樟(くすのき)の窓」も大好評であることは皆様ご承知の通りでございますが、先生の参加者を惹きつける素晴らしい講評では時折笑い声も飛び交うなどとても和やかに進行し、講評後は入選された出席者への表彰を行い、大会は盛会の内に終了いたしました。

年々、短歌愛好者の平均年齢が上昇する中、かくも多数のご投稿・ご出席を賜りました事、深く御礼申し上げますと共に本大会の開催に絶大なるご支援を賜りました広島・山口の歌人協会をはじめとする各短歌結社と関係諸機関の皆様方に実行委員一同厚く御礼申し上げます。

宮島全国短歌大会実行委員会



当日は多くのお客様にお越しいただきました。



大辻先生の講演



表彰式の模様



先生と受賞者の皆様の記念撮影



入選作品を記した色紙31点は11月13日(日)まで 厳島神社西廻廊に展示しております。